

關東都督府官制中改正ノ件  
 右謹テ上奏シ恭シク  
 聖裁ヲ仰キ併セテ樞密院ノ議ニ  
 付セラレムコトヲ請フ

明治四十年十二月十四日

内閣總理大臣侯爵西園寺公望印

勅令第 號

關東都督府官制中左ノ通改正ス

第十五條第一項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

都督官房ニ秘書課、文書課及外事課ヲ

置ク其ノ事務ノ分掌ハ都督之ヲ定ム

同條第二項中「及秘書官專任一人及第四

項ヲ削ル

第二十一條中「民政長官」ノ次ニ左ノ如ク

加フ

外事總長

一人 勅任又ハ奏任

警視總長

一人 勅任又ハ奏任

同條中「民政署長」ノ次ニ左ノ如ク加フ

秘書官

專任一人 奏任

同條ニ左ノ一項ヲ加フ

事務官ハ南滿洲ニ駐在スル領事官ヲ

シテ之ヲ兼ホシムルコトヲ得

第二十二條ノ二 外事總長ハ都督官房

外事課長ト爲リ都督ノ命ヲ承ケ涉外

事務ヲ掌理ス

第二十二條ノ三 警視總長ハ民政部警

務課長ト爲リ上官ノ命ヲ承ケ警察ニ  
關スル事務ヲ掌理ス

第二十四條ニ左ノ一項ヲ加フ

領事官ニシテ事務官ヲ兼ヌル者ハ上

官ノ命ヲ承ケ鐵道線路ノ警察事務ヲ

掌理ス

第三十條ノ二 秘書官ハ都督ノ命ヲ承

ケ機密ニ關スル事務ヲ掌ル

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

